

a. 石巻圏域子ども・若者総合相談センター相談終了者等調査 ii.インタビュー調査 ※一部抜粋

※所属先は、子若センターに初めて相談した時の所属先を記載。

※文章中の記号については、下記の理由のため伏字として使用。

●●：インタビュー対象者名

○○：インタビュー対象者以外の個人名

**：該当部分の音声データが不明瞭

△△，▲▲，□□：支援機関名（近い文中に異なる支援機関が複数出てきた場合は、▲▲と□□表記として区別する。）

石巻／女／小学生

【つなぎ先の成果に関する発言】

対象者：○○さん（つなぎ先支援機関のスタッフ）がいたときの△△で、主に勉強してたのが6年生の数学で。それをひたすらやったので、同じようなものをひたすらやってるんです。図形とかそういうものじゃなくて、文章題でもなくて、単純に1個のやつをやる感じで。家庭教師の先生から、「6年生のあれだけやってるんですよ」って言ったら、「え、これやれよ」って言われて。とりあえずワークブックみたいな、数学のたくさん入ってるやつとかもあって。それでこっちでノートに問題写して書いたりとか。教えてもらったのを△△で復習したりとか。そういうことを中3の時やってました。入試近くなった頃、△△の人たちにテストの問題とか持ってきてもらったりして。英語を教えてもらったりとか。社会とかも。主に数学と英語だった気がしますけど。それを教えてもらってました。

インタビュアー：△△についても聞いていい？ これは勉強が●●ちゃんの望んでたことなのか、例えば家から外に出るためのとか、家にずっといるとちょっと煮詰まるから外の場所として△△に来てたのかって、何を期待してたかにもよるんだけど。●●ちゃんが期待してたことに対して、△△は答えられてた？ それともあんまり答えられてなかったかな。

対象者：多分中1から中3まで答えてくれてたと思います。今もですけど。中1から中2はほんと覚えてないんですけど。ちゃんと自分が数学の勉強をやりたんですって言ったら、コピーさせてくれたりして助かってました。分からないところとか丸つけるとかもしてくれたりしてたんで。中3の時は、分からな

いとこがあれば聞くくらいで、自分一人で勉強することが多かったのです。勉強中あんまり干渉されるのが好きではないので、助かってました。

対象者：△△に来た時の最初の1, 2回は絵を描くだけだったんです。その当時は絵を描いて他人に見せることに、「うわっ」みたいな感情はなかったのです。見せるというのは面白いことだなと思っていたので。単純に描くのが好きだったので。単純に描いてそれを褒められたら、「うわあ」みたいな、そういう感じ。さすがにここは学校からの紹介で来たんだから、勉強はしたほうがいいよなみたいな、そんな感じで「今日は勉強します」って。それで数学やって。そこからここは勉強する場みたいなものなんだから、勉強しないといけないみたいな感じで勉強してた。* *して……、なんかずれてる気がする。一旦来てみるから、勉強するために来るに変わったんだと思います

【支援の価値に関する発言】

対象者：(当時のニーズ) そうですね。正直その当時の価値観が今と違うので。思っきりその当時の気持ちになれないんですけど。やっぱり、さっき言ったのと一緒に、単純に外出たかったとか。同級生がいなくていうのも、でかかったかもしれないです。その当時というか今もちょっとあるんですけど、同じ年くらいの人苦手。自分より年下ってというのは大丈夫なんですけど。年上とか同学年はちょっと苦手だったのもあって、多分。一人で勉強できるなら大丈夫かなみたいな。というのも若干あったと思います。

インタビューア：△△は人と関わる場というよりは、その時〇〇さん(つなぎ先支援機関のスタッフ)と1対1で勉強とか、趣味の絵を描いたりということだったから。それは同世代の人と会わなくする場所。みたいな印象になったのかもしれない。

対象者：そうですね。

石巻／女／中学生

【子若センターの成果に関する発言】

保護者：名前はあれだけど、覚えてるよね、

インタビューア：●●ちゃん。あのときとかどうだった？ はじめて来てみたときとか、その前に来てくれたときとか。

保護者：先生も一緒に来たんだ。

インタビューア：そう。感想はどうだった？

対象者：いいとこだなと思った。

インタビュアー：いいとこだと思ってくれた。ありがとう。

保護者：びっくりしてね。やっぱりだめって言うのがと思ったんです。

インタビュアー：お母さんのにはね。

保護者：場所もたぶん良かったし。

【支援の価値に関する発言】

保護者：だからちょっと。難しい。だからここにくっつきも、すごい気い使ってしまった。私が。ファーストインプレッションで決まってしまうって思って。だから、すごいものなんです。この人にとっては、ここに通うってことが。

インタビュアー：逆にありがたいです。我々からすれば。確かにうちには、熱血の人はいないから。やるぞ、ほい、やるぞ、みたいな人はいないから。

保護者：それがいいって人もいますよね。

石巻／男／中学生

【地域課題に関する発言】

インタビュアー：もっと勉強教えてくれるところがあるべきとか。それがたぶんあると思う。△△でも教えてるけど。

対象者：言われてみればそう。

対象者：(通信制高校が) 遠いのはいいんですけど、1時間目からとなると、6時40分とかの電車に乗る。3時とか4時起きとかになる。

【支援の価値に関する発言】

対象者：(記憶に残る最初の支援員について) けっこう優しめというか。色々手厚かった。学校の科目登録あるんですけどそれにも最初付き合ってくれた。

(中略) いろいろ手続きみたいな。入学する前の説明会みたいな行ってくれたりとかは覚えてます。(中略) 普通に電車とかその時乗ったことなかったんで、心強かったです。

対象者：単純に、わりと長い間一緒に活動してくれたのと、最初はあまり話せなかったんですけど、だんだん口数増えていって。

石巻／女／小学生

【子若センターの成果に関する発言】

対象者：なんか、1回、「こっちに来てって、フリースクールに来て」って言って、「どういう場所か説明するために、こっちに来て」って言われて、〇〇さん（子若センター相談員）といろいろ話をして、終わった時にゲームをした子がいて、一緒にゲームをしたのが楽しくて、それで、「またゲームしに来たいな」と思って、そんな感じ。

対象者：中学生の時に、ここに、『△△』に通ってた後に『▲▲』、もともとの**。紹介？「一緒に行こう」みたいに誘われて、『▲▲』に行ってたけど、やっぱり遠くて、また昇るから。だから、最近はまだ全然行ってなくて。

対象者：やっぱり、スタッフとかと話すことで、コミュニケーションとか、最初の時はあまり話すことが好きじゃなかったんですけど、話すことが増えて来て、そういうので**。人と話すことが好きになった。

【つなぎ先の成果に関する発言】

対象者：自由でいいなって。最初の方は、特にゲームとか、**してたりしてたんだけど、勉強もして見ようかなと思って、いろいろ、スタッフとかに教わってしたりしてました。

対象者：1回、ここに来るにつれて、スタッフ、いろいろな人とゲームをしたり、話したりしたら、もういろいろ打ち解けたりするから、そういう。

インタビューア：ありがとう。そうだね。急に「信頼しようぜ」みたいな感じよりは、そういうゲームとか、そういう活動を通じて、徐々に、お互いを知っていったとか、

対象者：そうです。

対象者：1回、出席日数で結構不安だったんだけど、それは特に相談とかしてなくて。そしたら、**が出ようって来て。それで、ここに来たら出席日数になるようにしてくれたっていうか。ここに来たら出席日数になるって、してくれたから結構うれしかった。

インタビューア：なるほど。

対象者：パパには言ってなかったから、してくれて、うれしかった。

インタビューア：言ってなかったけど、気になっていたんだね。学校の欠席が増えてるけど、出席日数足りるかなって。

対象者：はい。

インタビュアー：ちなみに、その「出席日数が気になった」っていうのは、どういう理由？

対象者：やっぱり、親とかに結構言われてたから。今も言われるけど。

インタビュアー：「学校行かないで、どうするの？」みたいなことを言われるってことね。掘っていいかわかんないから、全然答えたくなかったらあれだけど、例えば、小学校の時は無理やり連れて行かれるのが嫌だったみたいな感じで話してくれたと思うんだけど、今、親に学校に週2～3通ってるけど、それ以外は通ってないこととかを言われた時って、●●さんは今どういう気持ちになったり、どういうことを考えるの？

対象者：出席日数とあって、やっぱり慣れるから、頭の中で逆にイラッとする。

インタビュアー：今後の希望っていうか、例えば、中3っていうと卒業する年だけれども、来年から、どうしたいとか希望ってあるんですか？

対象者：あります。(高校)？

インタビュアー：ああ、(高校)。

対象者：そうです。そこに行きたいなって思ってます。

インタビュアー：(高校)に行きたいっていう進学の希望があるんだね。

対象者：そうです。

インタビュアー：そこを選んだ理由とか聞いていい？

対象者：ここ(フリースクール)と一緒に通ってた先輩が今、入学してるから、いろいろ(高校)の話とか聞いて、自分も行きたいなと思って。

【地域課題に関する発言】

対象者：小学校の時は「別室がいい」って言っても、「教室に行こう」みたいな感じですごく誘ってきてしつこかった。「帰りたい」って言っても、あんまり帰らせてくれない。あと、無理やり、**たのを、先生とかもいたから、それがやっぱり違うかなと思って。

対象者：理想は、もう本当に蛇田のほうにフリースクール、ほしいみたいな。

インタビュアー：さっきの、あれだもんね？ なんだっけ？ もう1個の所も遠かったからっていうのだったもんね。

対象者：近いほうだとは思うけど、送り迎えが、やっぱり。おじいちゃんが前は送ってくれてて、ちょっと頼むのも気まずいというか、言いづらい。「送ってってね」っていうのが。

インタビュアー：小学生が自力で来れる距離じゃないもんね。

対象者：はい。

【支援の価値に関する発言】

インタビュアー：(子若センター相談員) 最初の印象って、どうでした? 「怖い人」と思ったりとか、どんな?

対象者：面白い人だなんて。なんか面白い。

インタビュアー：来る前からとどんな、

対象者：話し方とか、やっぱり面白いですね。

【その他】

対象者：小学4年生の時は、別室で嫌々、本当に無理やり連れて行かれて。それで本当に行かなくなったのは5年生です。

対象者：車から引きずり出されたり、本当に行きたくなかった時は、もう家から逃げて。蛇田のほうのおばあちゃん家とかにこもって、いろいろ迷惑かけちゃったかもしれない。

石巻／男／小学生

【子若センターの成果に関する発言】

対象者：やっぱり、そこで不登校じゃなかったら、たぶん、こういう場もないじゃないですか? なんか、いろいろ、ものを知るのが好きで、それで学校っていったら大体みんな同じものを教えることになるじゃないですか? そこでたぶん、違うものを知れたのに良い機会だったなって。

インタビュアー：へえ。いや、大人だな。

対象者：いえ、全然。

インタビュアー：素敵だなあ。

対象者：それを含めて今があるので、そう考えたら全然良かったかなって感じです。

インタビュアー：じゃああの時、5、6年生の時に不登校になったことが逆に、いろんなつながりができたり、見えない、学校以外のいろんな知る機会に、●●としては、なったってとらえて、それはいいっていうのと?

対象者：もう全然みたいな感じで。

【支援の価値に関する発言】

インタビュアー：〇〇さん(子若センター相談員)の印象、なんかある?

対象者：人当たりは優しい人なんだと思います。

【その他】

インタビュアー：5、6年生の時の不登校だった時の、特に問題をそんなに感じてなかったっていうところで、一方で、「これからどうなるんだろう？」っていう不安を抱えてみたいところがあった中で、その不安を抱えていたことはどうだったんだろう？ 誰かに話そうとか、何か解決しようとか、あたりはした？

対象者：そうですね。やっぱり、「話しても変わらない」というのは自分の中でずっと思ってたんで。

インタビュアー：そっか。

対象者：自分次第なのかなって感じで思ってます。

インタビュアー：なるほどね。ちなみに、ごめん、もうちょっと聞いてもいい？

対象者：全然いいです。

インタビュアー：それって、「話しても変わらない」というのは、やっぱり、「これまで何回か話してきたんだけど変わらなかったから変わらない」とって、●●はいつも思っていたのか、そもそも、もう自分の中で考えだして、「別に誰かに話しても、自分が人生をやるなら、自分しか駄目でしょ？ 話しても駄目でしょ？」みたいな感じだったのか？ なんで、「話しても変わらないと思ったんだろう？」とって。

対象：「起きれない」みたいな問題って自分に依存するじゃないですか？ でも、「お母さんに起こしてもらおう」みたいなのは、やってもらってたんです。それで起きれなかったら、たぶん、自分ではどうにかできる範囲じゃないじゃないですか。となると、ただ、外から何かしてもらっても難しいみたいな状況じゃないですか、起きれなかったら。そしたら、自分でも手が届かないし、周りの人に何してもらってもなんともならないみたいところで、「もう、しょうがないんじゃないかな」みたいなのが自分の中にあった気が。だから、さっきの話で言ったら後者ですね、「自分の考えだった」とって。

石巻／女／中学生

【子若センターの成果に関する発言】

対象者：やっぱり、『△△』、場所が場所で遠かったんで。

インタビュアー：場所ね、ちょっとね。

対象者：なので、自分で行くよりかは、やっぱり（子若センター相談員と）一緒に行ってたほうがよかった気がします。

インタビュアー：特に最初とかは、そうだったのかな？

対象者：はい。

【地域課題に関する発言】

インタビュアー：ちなみに、●●ちゃんが当時ここに面談に来てくれた時、ここ以外の大人の、いわゆる「支援者」みたいな人とか、そういう人たちと関わった記憶って、あったりする？

対象者：その時に関わってたかどうかは分かんないですけど、▲▲？

インタビュアー：はい。

対象者：はい。結構、行ったりしてました、その当時。「今はどんな感じですか？」みたいなのを話すために行っていました。

インタビュアー：▲▲とは、どういうきっかけで行き始めたか覚えてたりする？

対象者：自分がこっちに来る前、(地域)に住んでたんですけど。

インタビュアー：そうだよな。

対象者：その時に母親からの虐待とかあって、一時保護してもらって。それで私がこっちに来ることになって。でもやっぱり、こっちに来てからも、たぶん、その▲▲の人たちが、「(地域)県から宮城に引越して、宮城県にも▲▲があるから、そこでまたお話しとかができればな」ということで言われた気がします。

インタビュアー：なるほどね。当時はどんなお話をしたかとか、何回ぐらい行ったかとか覚えてる？

対象者：月1ペースで、何の話をしたかな？ でも同じことだった気がします。「学校、どう？」とか、「家では、どう？」とか、「なんか悩んでいることあるの？」とかですかね？

インタビュアー：なるほどね。それは、▲▲は●●ちゃんから見た時は、どんなふうに見えてた？ 「この人たちには話してもよさそうだな」とか、良い印象なのか、「いや、なんかもういいかな」みたいな？ どんな印象？

対象者：でもやっぱり、「なんか、もういいかな？」っていう気持ちはありました。「ほっといてくれ」みたいに思うことはありました。

インタビュアー：それは今思うと、「なんでそう思ったか」とかっていうのはあるのかな？理由が。

対象者：なんだろう？ やっぱりただ単に行きたくなかったというのはあるかもしれないです。

インタビュアー：▲▲の所に？

対象者：そうです。

インタビュアー：そうだよな。行きたくもない。ほかには何か行ってた場所とか、こういう人と話してたりとか、「こういう支援・サポートを受けてたな」なんてことがあったりした？ 当時。

対象者：ほかにはなかったような。たぶん、▲▲だけでした。

インタビュアー：▲▲だけだった？

対象者：はい。

インタビュアー：場所とかは、あたりですか？

対象者：場所？

インタビュアー：こういう所、外に出たほうがいいのか、逆に家のほうがよかったのか、学校のほうがよかったとか、どんな？

対象者：外のほうがいい気がします。自宅だと、やっぱり、誰もいなかったらいいんですけど、誰かいたら、まして、聞こえちゃうかもしれないから、そういうのを考えちゃうんで、学校とか、家でもそうですけど。なので、本当に、ここみたいに、ちゃんと、「相談する部屋」みたいなのがあったほうがいいと思います、絶対。

【支援の価値に関する発言】

インタビュアー：了解です。ちなみに、質問がまた移っていくんだけど、▲▲の所は「ほっといてくれ」とか思って行ったところと、そしてその後ぐらいからこっちに来てくれたと思うんだけど。僕から聞くのもなかなか答えづらいところもあるかもしれないけど、どうでした？ 僕らの印象は。対応した時の。最初の印象とか何か？

対象者：たぶん、お父さんが隣にいなかったら、いっぱい話してたんだろうと、「話しやすいな」という印象はありました。

インタビュアー：そうだった？

対象者：はい。

インタビュアー：確かに、お父さんが隣にいたもんね。なるほどね。どこらへんに話しやすさを感じたりしたとかはあった？

対象者：すごい明るかったから。

【その他】

インタビュアー：ずっとだったんだ。それは今思うと、「夜更かししちゃう」みたいな話なのか、「朝起きると、つらい」みたいな感じなのか、どんな感じだった？

対象者：どっちもでしたね。夜更かししちゃうというのもあったし、朝起きて、学校に行かなきゃと思うと「行きたくないな」と思って。

石巻／男／無所属

【子若センターの成果に関する発言】

インタビュアー：(子若センターで) どんなサポートを受けましたかっていうことを聞きたいんだけど、覚

えてるかな。

対象者：子ども達と出会えた。しかもめちゃくちゃとびっきりいい子達。

インタビュアー：僕も楽しかったんだよね。あれ、楽しかったね。(中略)(地域)にいた子ども達と出会えた。ボランティアっていう形で一緒に行ってたよね。あれは、●●にとってはどうだったの？子ども達と出会えたこととか、あそこでの過ごした時間はどんな気持ちになってた？

対象者：(子ども達が)自分に対しても、大人目線で喋ってくれるんだなって。感動しましたね。

【地域課題に関する発言】

対象者：基本どこにも相談してないです。

インタビュアー：△△さんは？

対象者：行きました。

インタビュアー：行ったよね。△△さんはどうだった、行ってみて。

対象者：△△さんは行ってみて。仕事の紹介をする場所だったので、僕の精神を癒す場所ではないと思って。

インタビュアー：1回行ったのかな。

対象者：1回行きました。

インタビュアー：1回きりって感じ？ △△さんは。

対象者：確か。確かです。

インタビュアー：それ以外で相談するところはなかった感じ？ どこか別のところ行ったりしたの。

対象者：別のところには行ってないです。

インタビュアー：それ以外は▲▲さん。

対象者：▲▲です。

インタビュアー：△△さんは、何きっかけで知ったの？

対象者：△△さんは、ホームページ。

インタビュアー：それは●●が調べたの？

対象者：それもお母さんです。

【支援の価値に関する発言】

インタビュアー：そんなこんなで相談、話をしてくれたんだけど、僕から聞くのは聞きづらいところがあるんですけど、僕の印象どうでしたか。

対象者：めちゃくちゃいい人です。

インタビュアー：変な感じするよな。これ。

対象者：変な感じします。

インタビュアー：自分で聞いてさ。こそばゆい感じ。どこらへんが。何が良かったとかありますか。自分で聞いて、すごい答えを求めてる感じがしてやなんだよね、これ。何が良かったとかありました？ ●●
的には。

対象者：自分の過去も、全部、学歴とか話してくれるんで。隠さないんだと思って。めっちゃ印象的でした。めっちゃいい人だなと思いました。だって、□□のとき、俺早稲田大学なんだよってほらふかす看護師さんいて、いや看護師やんって思って。なんで隠すんだよと思って。

インタビュアー：なるほど。そういうことがあったのか。なのに、この人は。

対象者：この人は、普通に、俺東大なんだよとか話したりして。

インタビュアー：恥ずかしくて言えない、事実違うし。そういうオープンな感じとか嘘が無い感じが良かったの？

対象者：そうです。

インタビュアー：気にしない。この人は話しやすいな、この人は話しづらいなというのはあったりする？

対象者：笑顔無い人とは話しづらいです。

インタビュアー：なるほど。それはなんでだと思う？ ●●的には。

対象者：わかりません。

インタビュアー：わかりません。無表情だと怖いのかな。

対象者：そうだと思います。

インタビュアー：そうだよな。

石巻／男／無所属

【子若センターの成果に関する発言】

対象者：こちら（子若センター）に関しては、一番お世話になった△△さんを紹介していただいたので、その点では有難かったなと非常に思ってます。△△さんに関しては、けっこう長い間、半年くらいお世話になって、いろいろ経験もできたので、すごいよかったです。就職にも繋がったので。あと病院ですか。一応定期的に行ってはいたんですけど。正直先生が頼りにならない感じといますか。ちょっと現状報告して終わりみたいな感じだったので。最後のほうは、何でしたっけ。病气しているときの手当みたいなものがあるじゃないですか。傷病手当。ほんとに傷病手当もらうためだけに通っているような感じで。正直あんまり頼れなかったなというのが。

【支援の価値に関する発言】

対象者：そのまま直接就職につなげるというより、前段階的なところを紹介してもらえたらいいなとちょっと思っています。ここから紹介してもらおうところもいろいろあるじゃないですか。パソコンとか学べる場所何でしたっけ。

インタビュアー：▲▲。

対象者：そう、▲▲とか、自分が通ってた△△とか。▲▲は実践的なパソコンとかなのに対して、△△のほうは、就職の前段階な感じでボランティア活動とか、無料体験とかを通じて就職に繋げるみたいな感じだったので。そっちの方がいいなと思って。△△さんに通うようになったんですけど。

インタビュアー：そうすると、いわゆる就職、直だと□□さん。そうじゃなくて技術を身に付けたり、アクティビティに参加しながら就職の階段をのぼるというか。そういったことを希望されていた。

対象者：ブランクがあったこともあって、いきなり就職は少し不安というところがありまして。

対象者：(子若センター相談員の印象は?) 悪印象はぜんぜんなく、普通に話しやすそうな人だなみたいなそんな感じでしたね。

対象者：(主訴の明確化について) それに関しては、最初はだいぶ漠然としてまして。ただ、それこそ最初▲▲さんを知っているというか、それも親に紹介されてこういうところあるんだなみたいな感じで。ここはどうなんですかみたいな感じで、確かこちらに相談して。で、こちらから、それもあるけど△△とかそっち方面もあるよみたいな感じで提案してもらって。いろいろ話してる間に、いきなり就職に向かうより就職の前段階のほうがいいなというのが、固まってきた感じだったはず。最初から決まっていたというよりは、相談しながら、就職の前段階からいったほうがいいんじゃないか、となったはず。

石巻／男／小学生

【支援の価値に関する発言】

インタビュアー：やめてる？おっけ。最初に〇〇さん(子若センター相談員)とか会ったときの印象って覚えてる？どんな人だったかって。とか。僕とか。

対象者：明るい印象。

女川／女／無所属

【子若センターの成果に関する発言】

対象者：今だと、選択肢というか、今、こことつながる前は病院とか**だったり、**とこだけだったけど、ある意味こことつながって、いろんな当面の選択肢が増えたかなってというのは思ってます。

【地域課題に関する発言】

インタビュアー：〇〇さんと面談するってなる前の状況はどんな感じだったか。要は生活とか、いろんな関係機関と皆さんのこととか**。

対象者：**1回、△△使おうとしたんですけど。▲▲にも同行してもらったんですけど、1回。そのときの担当の人が最悪な担当の人で。たぶん、まだ携帯を契約してない状況で就活してたんで、単刀直入に1回目の支援で、就活どうこうより、まず電話どうこうするといんじゃねって言われて。そのやり取りをされた職員も△△にいるんだってなって、**。たぶん□□か、なんかして。こういうのあるよみたいな感じで、たぶん聞いたのがこの始まりだと。

対象者：▲▲から駅まで帰るときも、車も、この人としゃべりたくないって。すぐ文句言う。寄り添った支援って、これじゃないよねって思ったから、△△と縁を切って。

インタビュアー：了解です。整理ができた部分で。了解です。●●さんにとって、さっきも少し似たような感じで、人に話すとか相談するって抵抗感とかないですか。ちょっとこの人には話せないな、この人にはちょっと言えないな、とか。

対象者：たぶん、病院の感じでもプライベートだと普通にしゃべれるけど、いざって感じだと先生に会うとしゃべれない。**顔見れたり、**しゃべれないならいや、みたいな。

インタビュアー：そういう意味では女川に病院とかいい先生がもっと、ほかの先生も居たりとかしてれば、もしかして石巻**。

対象者：もしかしたらまだ別だったかもしれないけど、特に石巻にしたのは、たまたま**働いてたから、女川に帰ると、仕事が終わると4時とかになっちゃうじゃないっていうので、快晴だったら午前でも午後でも、仕事が終わっても**だし、車だったし。

【支援の価値に関する発言】

インタビュアー：印象は覚えていますか。〇〇さん（子若センター相談員）の。

対象者：話しやすそうだったなって。意外と。

いろんな人と会ったけど、やっぱり初見で大丈夫だなみたいな感じ。

インタビュアー：●●さんからすると、どういう人が話しやすいなって思える？

対象者：たぶん、私が駄目なのは、逆に自分のテンポでぐいぐい来る人。だからたぶん○○さん（他の支援機関のスタッフ）もそのタイプだろうと思ったら、ごめんなさいになって、すぐ。

【その他】

インタビュアー：分かりました。ちなみに今●●さんが、今後、今過去の話とか聞いたんですけど、これから未来の話とかになったときに、今後の不安っていうのは一番何が。

対象者：今後。障害になって、それをオープンにするか、クローズにするか。

インタビュアー：自分の、●●さんとして。

対象者：最近の職場では社員さんだけにオープンしてたから。パートさん、同僚には障害があるっていうのは分かんない状態だから。オープンにした場合、どこまでオープンにするか。クローズにするにも働きづらいだろうし。

石巻／女／小学生

【地域課題に関する発言】

保護者：ていう感じだったから。わりと、いい悪いは別として、自分の信念みたいなものがあるじゃないですか。私は**。勉強はしないけど、すごく本読んだり、自分でなんか作ったりがはっきり見えてたので、●●に関しては、どうしようかなっていうのは正直無かったです。それこそ普通に学校行けばいいんですけど、行かないことに対しての不安っていうのはこの人はあんまりなかった。（●●の兄弟）の方が逆に人と喋れないとか。●●はそういう全然ないんです。お店とかに行っても、すみませんこの本どこにあるんですか、とか自分から聞きに行ける人なんで。（●●の兄弟）はそれすらできないから。

インタビュアー：ある種、いい意味でもほっといてもよかったところは。

保護者：例えば、学校っていうシステムがだめなだけで、たぶん普通に生活できる。っていうのは変だけど、っていうのがあったから。うちにずっといるのはどうかなって思うんですけど。精神的な面では大丈夫かなと思ってる。大丈夫なのかな。大丈夫じゃないからこうなってる。

KhCoder 分析

- ・計量テキスト分析ソフトウェア KhCoder (version 3.Beta.05b) を用いている。
- ・テキスト分析では、対象者がインタビュー中に語った言葉のみを対象にしている。氏名は、分析対象から除外している。
- ・頻出語は、それぞれ分析対象とした範囲内において、インタビュー中に最も多く使われた語の上位 100 をリストアップしている。頻出語リストに登場しているものの、共起ネットワークに登場していない語もある。これは、同じ語とペアで使われる傾向にはなく、多様な語とともに使われたことを示している。
- ・共起ネットワークは、対象者が、インタビュアーの問いかけと問いかけの間に発言した内容の中で、一緒に使われる傾向にあった語と語のペアを示している。頻繁に登場した語ほど、円が大きく表示されている。また、一緒に使われた傾向が強いペアほど、語と語を結ぶ線が濃く表示されている (Jaccard 係数による)。なお、図の中における語の位置は、意味を持たない。各類型の共起ネットワークでは、最低 5 回以上出現した語を対象に分析を行った。

※本分析では、子若センターの主たる相談内容から、代表的な 4 類型を下記のとおり設定し、その想定に当てはまる 13 人を抽出した。

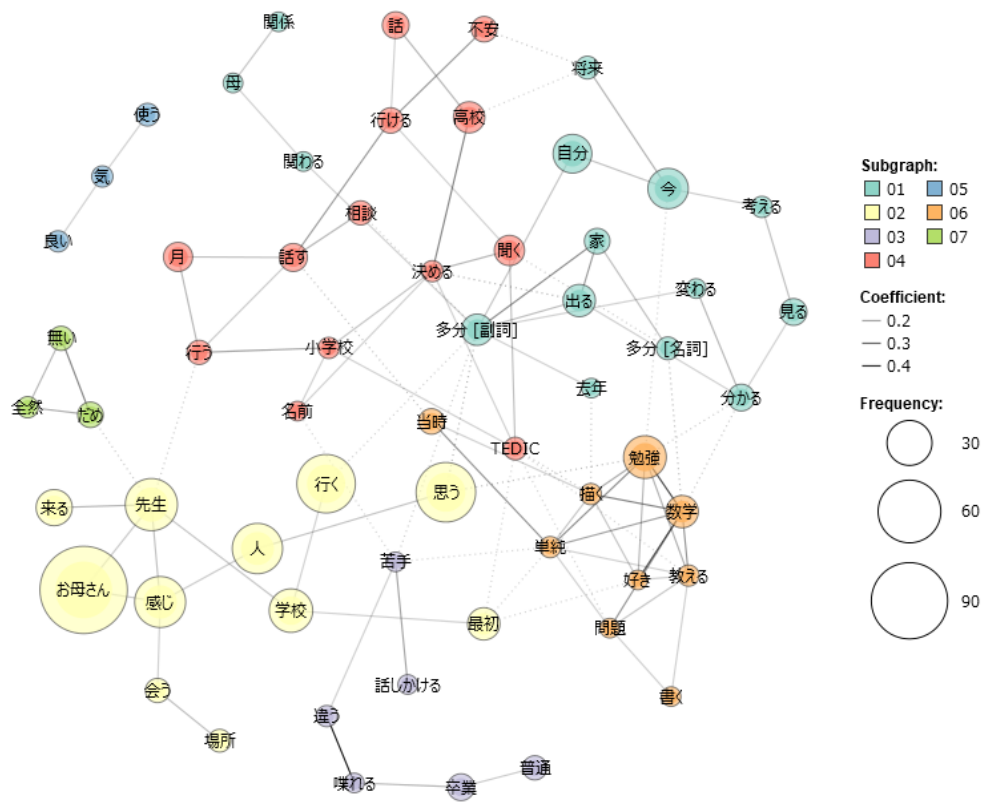
- ①家庭環境、対人、障害等に困り感があり、不登校状態にもなっているのではないかと (4 人)
- ②家庭環境、対人に困り感があり、不登校状態にもなっているのではないかと (3 人)
- ③就労、対人に困り感があり、その背景に障害や家庭環境があるのではないかと (3 人)
- ④不登校状態ではないが、家庭環境や対人関係、障害で困り感をもっているのではないかと (3 人)

① 家庭環境、対人、障害等に困り感があり、不登校状態にもなっているのではないか

【頻出語（上位100）】

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
お母さん	119	教える	6
思う	54	決める	6
行く	52	嫌	6
先生	41	考える	6
感じ	39	受験	6
人	38	小学校	6
学校	28	全然	6
言う	28	単純	6
勉強	27	描く	6
今	24	良い	6
覚える	23	関わる	5
自分	22	関係	5
来る	19	去年	5
大丈夫	17	苦手	5
最初	15	好き	5
出る	15	作る	5
数学	15	書く	5
高校	14	喋れる	5
多分	14	変わる	5
聞く	13	母	5
月	12	名前	5
前	12	問題	5
年	12	話しかける	5
話す	11	その後	4
見る	10	プリント	4
卒業	10	一緒	4
分かる	10	家庭	4
話	10	回	4
だめ	9	絵	4
家	9	外	4
行ける	9	慣れる	4
当時	9	基本	4
不安	9	帰る	4
会う	8	気付く	4
行う	8	記憶	4
相談	8	教師	4
普通	8	若干	4
無い	8	受ける	4
TEDIC	7	週	4
使う	7	大人	4
時間	7	大変	4
将来	7	中学	4
場所	7	長い	4
多分	7	働く	4
知る	7	抜ける	4
電話	7	文章	4
怖い	7	話せる	4
お願い	6	お話	3
違う	6	テスト	3
気	6	一番	3

【共起ネットワーク（1つの発言中に一緒に使われた傾向が見られる語と語のペア）】



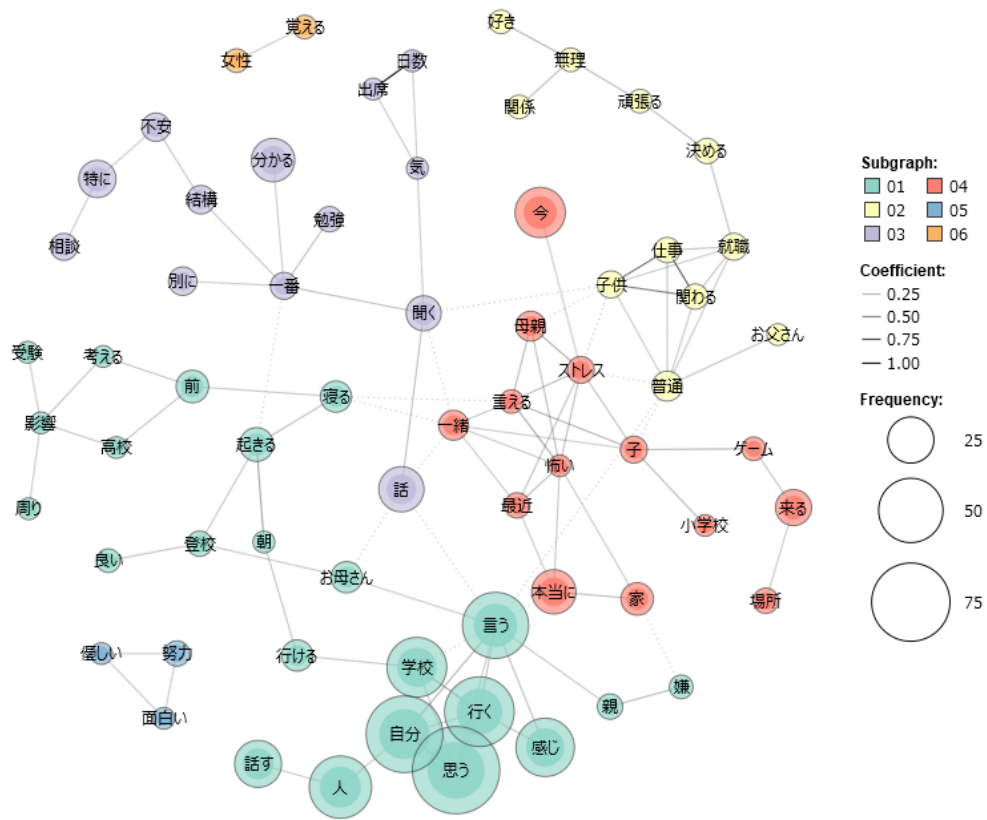
最小出現数 5、Jaccard 係数による共起関係上位 100 位

② 家庭環境、対人に困り感があり、不登校状態にもなっているのではない
か

【頻出語（上位100）】

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
思う	94	月	6
自分	72	嫌	6
行く	59	言える	6
言う	53	好き	6
人	47	最初	6
学校	43	児	6
感じ	41	女性	6
今	30	当時	6
話す	26	無理	6
話	24	良い	6
本当に	23	お父さん	5
分かる	22	影響	5
全然	21	帰る	5
特に	16	気	5
来る	15	考える	5
聞く	14	高校	5
起きる	13	時間	5
家	12	受験	5
前	12	周り	5
お母さん	11	出席	5
行ける	11	小学校	5
寝る	11	進学	5
一緒	10	朝	5
普通	10	日数	5
母親	10	怖い	5
結構	9	面白い	5
不安	9	優しい	5
別に	9	お願い	4
ストレス	8	ほか	4
一番	8	スタッフ	4
子	8	フリースクール	4
子供	8	我慢	4
就職	8	結局	4
相談	8	見る	4
関わる	7	行う	4
決める	7	死ぬ	4
最近	7	手	4
仕事	7	住む	4
場所	7	先生	4
親	7	多い	4
登校	7	駄目	4
努力	7	大学	4
入る	7	大丈夫	4
年	7	中学校	4
勉強	7	部屋	4
ゲーム	6	別室	4
違う	6	変わる	4
覚える	6	本当	4
関係	6	目標	4
頑張る	6	問題	4

【共起ネットワーク（1つの発言中に一緒に使われた傾向が見られる語と語のペア）】



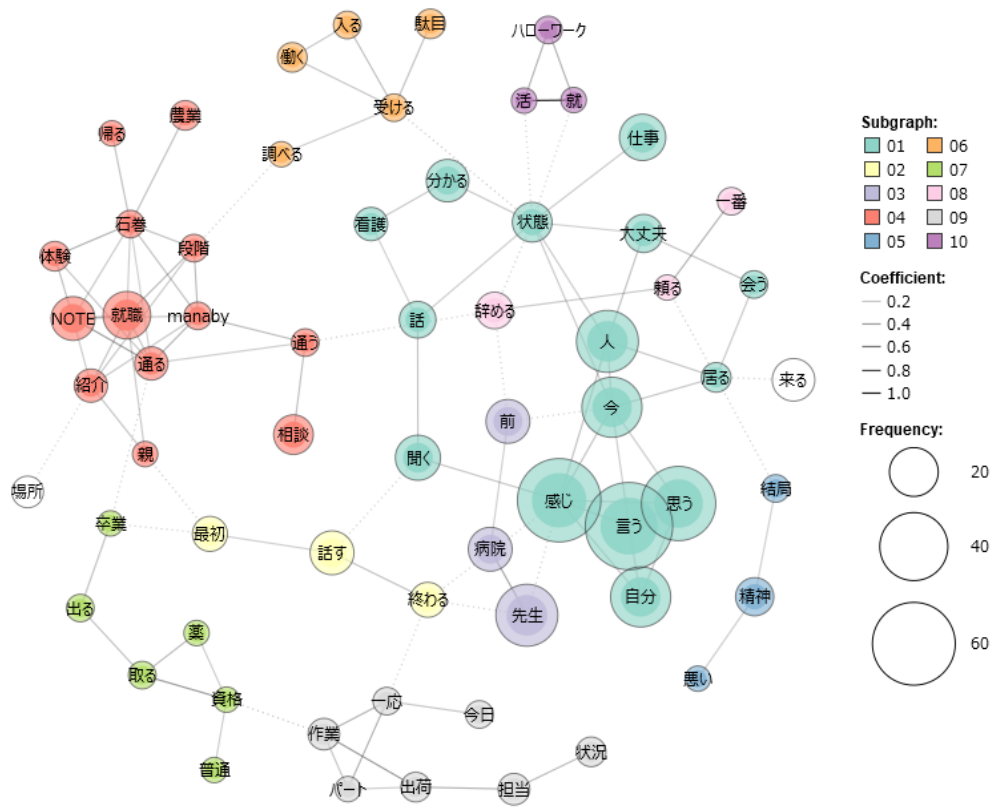
最小出現数 5、Jaccard 係数による共起関係上位 100 位

③ 就労、対人に困り感があり、その背景に障害や家庭環境があるのではない
か

【頻出語（上位100）】

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
言う	67	今日	6
感じ	61	取る	6
思う	48	受ける	6
人	33	出る	6
先生	33	石巻	6
今	31	段階	6
自分	31	通う	6
行く	23	入る	6
就職	19	パート	5
仕事	18	メンタル	5
聞く	17	悪い	5
NOTE	16	確か	5
前	16	活	5
病院	16	帰る	5
話す	16	月	5
分かる	15	嫌	5
来る	15	資格	5
状態	13	実家	5
相談	13	就	5
精神	12	親	5
大丈夫	12	卒業	5
辞める	11	調べる	5
話	11	不安	5
最初	10	普通	5
終わる	10	薬	5
看護	9	頼る	5
紹介	9	アパート	4
正直	9	オープン	4
通る	9	サポステ	4
見る	8	違う	4
作業	8	一緒	4
場所	8	飲む	4
担当	8	可能	4
居る	7	会社	4
出荷	7	覚える	4
状況	7	記憶	4
駄目	7	厳しい	4
体験	7	現場	4
働く	7	考える	4
難しい	7	行う	4
農業	7	今月	4
病気	7	最後	4
manaby	6	使う	4
お母さん	6	子	4
ハローワーク	6	次	4
意味	6	車	4
一応	6	若者	4
一番	6	手当	4
会う	6	住む	4
結局	6	書く	4

【共起ネットワーク（1つの発言中に一緒に使われた傾向が見られる語と語のペア）】



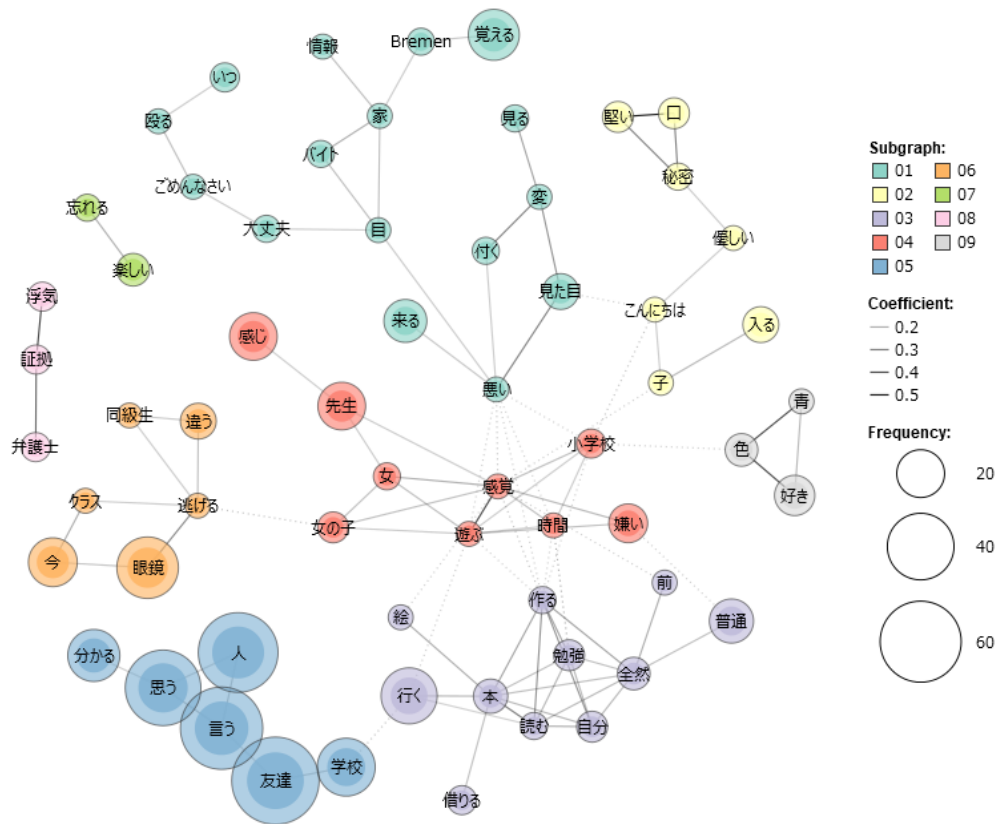
最小出現数 5、Jaccard 係数による共起関係上位 100 位

④ 不登校状態ではないが、家庭環境や対人関係、障害で困り感をもっているのではないか

【頻出語（上位100）】

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
お母さん	104	知る	6
友達	70	読む	6
言う	62	秘密	6
人	58	付く	6
思う	52	忘れる	6
眼鏡	34	無い	6
学校	30	話せる	6
行く	28	お父さん	5
分かる	24	こんにちは	5
覚える	23	ごめんなさい	5
今	21	クラス	5
感じ	20	悪い	5
先生	20	殴る	5
普通	17	家	5
来る	16	絵	5
話	16	感覚	5
好き	14	子	5
嫌い	13	時間	5
会う	12	情報	5
嫌	12	青	5
話す	12	前	5
違う	11	逃げる	5
見た目	11	同級生	5
待つ	11	変	5
入る	11	目	5
本	10	優しい	5
無理	10	遊ぶ	5
楽しい	9	パパ	4
色	9	ママ	4
全然	9	ミッキー	4
全部	9	一緒	4
堅い	8	印象	4
口	8	可能	4
自分	8	気	4
女の子	8	泣く	4
勉強	8	個人	4
いつ	7	周り	4
何で	7	小さい	4
借りる	7	少し	4
小学校	7	図工	4
証拠	7	他	4
浮気	7	多い	4
聞く	7	担任	4
弁護士	7	男の子	4
Bremen	6	遅刻	4
バイト	6	怒る	4
見る	6	年	4
作る	6	悩み	4
女	6	半分	4
大丈夫	6	浮かぶ	4

【共起ネットワーク（1つの発言中に一緒に使われた傾向が見られる語と語のペア）】



最小出現数 5、Jaccard 係数による共起関係上位 100 位